

# 令和4年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

## ①いのちを大切にできる心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

1 一人一人の児童生徒の尊重	2 道徳・心の教育の充実
学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。	学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）
考察 前年度より、一人一人の児童の尊重において、「そう思う」の児童の割合が、12%高くなっており本校が昨年度に引き続き取り組んでいる特別活動や道徳における心の教育の充実の保護者における90%を超える支持の意見に支えられていると考える。一方で、そう思わない等の意見にも背景を考え対応していきたい。	

## ②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

3 授業力向上	4 タブレット端末活用
先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。
考察 保護者・児童ともに、学校が確かな学力の向上を推進している点に90%以上が評価しており、教職員の取り組みが伝わっていると捉えることができる。また、タブレット端末の活用についての評価も昨年度より10%の伸びがあり、これまでの教職員の推進の取り組みが児童と保護者との意識と一致した結果と考える。	

## ③教員が子どもと向き合うための体制の整備

5 学校の支援体制	6 共生社会を担う人材の育成
学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。
考察 学校の支援体制において、約90%の支持があり評価を受けている。しかし、共生社会を担う人材の育成においては、昨年度より5%そう思うが下がっており、学校内における支援体制や支援に関する活動の広報を進めていく必要がある。また、そう思わない等の意見にも丁寧に聞き取り、他機関と連携し対応していく。	

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。
<p>考察 安全対策の推進においては、昨年より「そう思う」が、約10%伸び96%の支持をいただき、児童のけがや事故の未然防止につながっている。実際に、校内における児童のけが人の割合が少なくなっており、学習に集中できる環境づくりとして安全対策が充実を保護者・児童と共に共有、実践できた評価になっている。</p>	

⑤本校の教育

9 学校独自1	10 学校独自2
学校は、家庭に「わくわく」する学校にするために「4つの心」を活用し教育目標等を分かりやすく示していると思いますか。	学校は、みんなが「わくわく」する学校づくりに取り組んでいると思いますか。
<p>考察 本校の教育目標に対する保護者・児童の肯定的な評価が90%を超えており、また、保護者の「そう思わない」が、0%という結果から、本年度からの教育目標が、様々な形で保護者に浸透し教育の充実につながった結果となっている。</p>	

⑤ 本校の教育目標

11 学校独自3	
学校は、学級会などで、学級でやりたい楽しいことや問題を話し合っていますか。	
<p>考察 本校が取り組んでいる取り組みについて、90%を超える肯定的な評価があり、本校の教育活動の方向性と実践についての評価と捉えている。児童の「そう思う」が昨年度より高くなっており、これまで引き続いた教育活動を教職員、児童と共に更に内容、活動共に深化させていく。</p>	

## 来年度の具体的な取組について

- ・本年度の取り組みである「4つの心」とシンボリック存在の帯西レンジャーを教育活動の中心に据えながら、心の教育である特別活動・道徳教育の充実を推進していく。全教職員で共通実践したり、成果を共有する中で、職員・保護者・児童と共に学校目標の実現に向け実践していく。
- ・細やかな一人一人への対応において児童は、約70%が満足しており昨年度より12%の伸びが見られることから、教職員へ還元し、保護者へも具体的に示し実感できるように、保護者面談・懇談会・教育相談の機会をより多く設定していく。

## 学校関係者評価

- ・「4つの心」に基づいて教育目標を分かりやすく示しており、日常の活動の中にもその様子が見られる。これからも、教職員が教育目標の実現を実感している場面や子供の活動場面等をより共有していくことで、本校教育の実践の深化を目指していただきたい。
- ・授業参観をすると、とても落ち着いている。また、発言時は活発であり、このまま取組を進めていただきたい。
- ・本校教育目標の取り組みである学級会への評価は、保護者が教職員より20%も高く評価しており、来年度